



吉原



舞鶴市立吉原小学校
学校だより
7月号
令和5年6月30日

自然豊かな地域とともに、新たな文化の創造のために

今年の梅雨は、全国各地で豪雨となり被害の出ているところもあり、京都府北部でも、大雨警報の発表もありましたが、舞鶴は大きな被害もなく安堵しています。梅雨が明けると本格的な夏となり、猛暑の予報が出ています。体調管理に気を付けてお過ごしいただきたいと思います。

新型コロナウイルスが5類移行して一か月半を過ぎました。本校では、引き続き感染対策を意識しながら教育活動を進めています。

1学期に予定をしていた行事は計画どおりに実施でき、先日から水泳学習も行っています。6月27日(火)にはプール開きを行い、高学年をお手本に、ルールを守って楽しく活動している姿が印象的でした。各学年目標をもって安全に楽しく活動し、自己の力を伸ばさせていけるよう指導していきます。

さて、本校区の吉原静溪会様におかれましては、令和5年度第38回舞鶴ユネスコ賞教育賞を受賞されました。受賞理由は、地域に伝わる「銭太鼓」の練習を伝承のため続けておられること。また、本校児童への「しめ縄体験教室」や「魚のさばき方教室」など、伝統と文化を次の時代に担う子どもたちに伝えようとする取り組みが高く評価されたとお聞きしています。改めましてお祝い申し上げます。

また、今年度も、地域のみなさま方のご協力をいただき、各学年とも、生活科・総合的な学習の時間の中で、地域の歴史や伝統文化などを含め、吉原についてより深く学ぶ機会をいただき取り組んでいます。子どもたちが学んだことや考えたことを保護者及び地域の皆様方に発表する機会が持てればと思っております。

今の子どもたちが社会人となる約15年後は、どのような時代になっているのでしょうか？先行きが不透明で、将来の予測が困難な状態(VUCA)(V:変動性)(U:不確実性)(C:複雑性)(A:曖昧性)と言われる時代を自分らしく生きるために、子どもたちが社会の変化を前向きに捉え、苦手意識のある分野でも、できることから挑戦していくそのような学び手となれるよう、目標を持ち、柔軟な姿勢で挑戦する心を育てていきたいと思っています。

今後とも本校教育活動にご理解ご協力を賜り、保護者・地域の皆様とともに、子どもたちが「夢に向かって、がんばろう」と思える学校づくりに引き続き努めます。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします



裏山に咲く紫陽花



表彰を受けられる新田様



プール開き当日の様子



舞鶴港を出航する

シーニック・エクリプス号

校長 松岡 信次
教職員 一同

